

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 気仙沼市立松岩小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0122

宮城県松崎五駄鱈5番地

E-mail : matu-s7@royal.ocn.ne.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 218名 女子 214名 合計 432名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (~~国際理解~~ 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー ~~防災~~ 食育 伝統文化 そのほか ())
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

(1) 6学年「福祉の心を学ぼう(福祉)」 通年

①ねらい

○自分たちにできるボランティア活動を考え、実践する。また、その活動を通して、「共に生きていくこと」や「支え合うこと」、「福祉の心」について考える。

②今年度の取組

◇朝ボラ活動

「朝のボランティア活動」略して「朝ボラ活動」の展開。自分たちが「今、校内でできること」を考え、業前活動等の時間を活用して主に以下の3つのことを行った。

・「朝の読み聞かせ活動」

「朝の読書」時間に、1年生に対して紙芝居等の読み聞かせを実施することで、1年生が早く学校に慣れ、楽しく過ごせるようにすると共に、年少者への接し方を学んだ。

・「朝のあいさつ運動」

昇降口に立ち、登校する児童一人一人にあいさつをすることで、全校児童が気持ちの良い1日を迎えられるようにすると共に、あいさつによる心の交流を図った。

・「朝のクリーン活動」

校庭など校地の中で、普段行き届かない所のゴミ拾いを実施することで、全校児童が気持ち良く学校生活を送ることが出来るようにした。

◇交流活動

松岩地区にある、老人福祉施設や、特別支援学校があることから、「自分たちが今、共にできること」を考え、グループに分かれて施設や生活の様子を調べたり、生活している方々と交流を行った。

・老人福祉施設「恵風荘」との交流

体の不自由なお年寄りの方への接し方を調べ、一緒に楽しんでいただけるような「歌や楽器の演奏」や「手遊び」などの交流活動を計画・実施

・授産施設「松峰園」との交流

授産施設での仕事や生活の様子について調べ、簡単なゲームなどの交流活動を計画・実施した。

・気仙沼支援学校との交流

支援学校に在籍する児童への接し方を考え、皆が楽しめるような遊びや読み聞かせなどの交流活動を計画・実施した。

・松岩保育所との交流

松岩保育所の園児の生活の様子について調べ、園児が楽しく活動し、小学校生活を楽しみにできるような「劇」や「遊び」などの交流活動を計画・実施した。

◇キャップハンディ体験

交流活動を通してさらに「自分たちができること」を考え、「目の不自由な方の体験」や「車椅子体験」などの「キャップハンディ体験」を実施した。今年度は、社会福祉協会が被災したため、キャップハンディ体験の経験が豊富な教員が指導した。

◇避難所の皆さんとの交流

松岩小学校は、震災のため、1階を避難所、2・3階を教室として新学期をスタートさせた。昼間は仕事や片付けなどで忙しい避難所の方々と交流することは難しいことであったが、「共に生きる」自分たちに何が出来るか考え、母校の先輩である「島山美由紀さん」のコンサートに招待した。明るく美しい音楽を一緒に楽しんだ。

(2) 5学年 「漁港気仙沼の未来を見つめて（環境・復興）」 通年

①ねらい

○ 水産業が市の主産業であった気仙沼市。その水産業を発展させているのが、自然環境である。特に豊かな海を育む「森と川と海」のつながりの大切さを学ぶことは、未来へ向けて自然環境を守っていこうとする心情を育てていくことである。これが5年生の学習「漁港気仙沼を見つめて」のねらいであった。しかし震災により、「わかめの養殖体験」等の海に関係した活動が全くできなくなってしまった。そこで、今年度はテーマを「漁港気仙沼の未来を見つめて」とし、例年体験活動や交流でお世話になっている方々の被災状況と復旧・復興に向けての取組や思いを調べることで、未来に向かって自然環境を守り、取り戻していくために何が出来るのか、考えて行こうとする態度を育てることにした。

②今年度の取組（12月までの実践と1月からの予定）

◇植樹活動

6月。保護者との協議の末、一関での野外活動は例年通り実施することになった。テーマは決まったものの、例年のような調査活動はできずにいたが、まずは一関室根の「ひこばえの森」で植樹活動を行うことにした。理由は二つである。一つは、震災直後、断水になったとき、すぐに給水車で駆けつけてくださり、その後何度も給水だけでなく、牛乳や洋服等を届けてくださったのがこの「ひこばえの森」つまり一関市役所室根支所の方々だったということである。もう一つは、もう一度気仙沼に豊かな海と生活を取り戻すために、その源流である水を育む室根山の森を豊かにすること、つまり植樹をすることが大切だと子どもたちで話し合ったからである。子どもたちは、植樹活動と共に、室根支所の方から「植樹をすることの意味」や「生命の循環」「森は海の恋人運動」についてお話を伺い、今後の活動の方向について考えることができた。

◇水産業の現状

植樹活動から学んだことをまとめた子どもたちは、気仙沼の未来を見つめるためにまずは今年度体験するはずだった事柄（わかめの養殖体験、塩づくり体験、魚市場・リアスシャークミュージアム見学、フカヒレ工場の見学、食生活改善普及員連絡松岩

協議会の方からの地域の食材を使った料理作り等)が、現在どのような状況にあるのかを調査することにした。それぞれグループ別に調査をし、まとめたことについて中間発表会を行った。

- (3) 4 学年 「松岩小発・地球にいいことしよう (環境)」 1・2 学期
「地域の歴史を調べよう (歴史)」 3 学期
「外国のことを知ろう (国際理解)」 通年

①ねらい

- (今年度は浜清掃ができないので)「ごみ」「自然」「水」のグループに分かれて調査したことから、自然の大切さに気付き、自分達にできる環境を守る活動を考え実践に結び付ける。(環境)
- 松岩地区に古くから残っている物について調べ、それらを守っていくために自分たちにできることを考えたり、地域の古くから伝わる物や文化を未来へ残していこうとする心情を育てる。(歴史)
- ALT とかかわったり外国について書いてある本を読んだりしながら外国について興味をもったことについて調べ、分かったことを皆に発表する。(国際理解)

②今年度の取組

例年実施している「尾崎漁港の浜清掃」や「潮干狩り」は、被災状況が激しく、実施不可能となった。そこで、今年度は自分たちの身近な生活にある、「ごみ」「自然」「水」についてそれぞれテーマを決めて調べることにした。主に学校や家庭、居住地域などでの聞き取り調査であったが、ごみの量や種類について調べた。そしてゴミを減らすために「リサイクル」できないか考え、実際にリサイクルして生活に役立つものを作った。

- (4) 3 学年「探せ探せ松岩の名人」 通年
「外国のことを知ろう」 通年

①ねらい

- 松岩地区に住んでいる様々な技能や特技をもった人々について調べる学習を通して、身近にこのような方々がたくさんいることを理解することで地域の良さを再認識する。この学習を通して地域への関心を高め、理解を深めることができるようにし、地域への愛着をもたせる。(環境)
- ALT とかかわったり外国について書いてある本を読んだりして外国について興味をもったことについて調べ、分かったことを皆に発表する。(国際理解)

②今年度の取組

野菜作り等の農家に出向き、その仕事について見たり聞いたりしたり、体験させていただいたりした。これらのことから、仕事について分かったことや、かかわっていたいただいた名人の方々について感じたことや気付いたことについてまとめ、発表し合った。

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

特になし

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

特になし

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

「フィリピンのカワヤン小学校児童との絵画交流」

本校の管理校医の移川二郎先生のお世話で、26年前から毎年、フィリピンのカワヤン小学校との絵画交流を行っている。移川先生のフィリピン訪問に合わせて平成23年2月末にも、移川先生が、フィリピンを訪れたときに合わせ、各学級の児童の作品と菅野前校長の手紙を届けていただいた。今度は、来る4月にカワヤン小学校の校長先生が来日し、その際、お互いの絵画を交換する予定になっている。

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)

特になし